

魅力ある授業のために（単元化例） 古典探究 読むこと

1 単元の目標

- (1) 古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めることができる。〔知識及び技能〕(1)エ
- (2) 作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察することができる。〔思考力、判断力、表現力〕A(1)エ
- (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。「学びに向かう力、人間性等」

2 指導と評価の計画

科目名	古典探究	学年類型	2年	単位数	4単位	話すこと 聞くこと	
単元名	紀行文で詠まれる和歌の特徴について調べ、報告書にまとめよう （『十六夜日記』）					書くこと	
						読むこと	○
単元の評価規準							
知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度			
古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。		「読むこと」において、作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察している。		作品について探究課題を設定し、調べたり発表したりする活動を通して、テーマについて粘り強く調べ、既習事項と結びつけて考えようとしている。			
主たる言語活動							
古典の作品に関連のある事柄についてさまざまな資料を調べ、報告書にまとめる活動。							
時間	授業のねらい・主たる学習活動			重点項目			評価方法
				知	思	態	
1	『十六夜日記』を読み、探究課題を設定する。			○			・行動の観察 (音読)
	①単元の目標や進め方を確認し、学習の見通しをもつ。 ②二人ペアで交互に音読し、和歌のもつリズムについて理解を深める。 ③本文を読んで、「尾張」「下戸」「熱田の宮」「鳴海」などが出てくることから、地名や旅行日程など調べたいことを書き出す。 ④グループになり、調べたいテーマを決めて役割分担をする。 ⑤掛詞、序詞、枕詞については、各班の共通テーマとして班員の内一人は必ず調べることとし、修辞技法について理解を深める。 ⑥各班のテーマと班員の探究課題を提出する。						
2	調べ学習など、探究活動を行う。				○	○	・行動の観察 (調べ学習)
	⑦各班で設定したテーマに合わせ、探究活動を行う。 ※『伊勢物語』との比較、女流日記文学との比較など ⑧各自の探究課題とその結果について、各班でまとめ、次時で発表できるよう準備をする。						
3	探究内容について、班ごとに発表する。						

	<p>⑨クラス全体で各班が探究した内容についての発表を行う。 ※中世三大紀行文の一つであるが、阿仏尼という女性歌人が残した紀行文であるという作品としての価値に気付かせたい。 ⑩振り返りを行う。</p>		◎	◎	<ul style="list-style-type: none"> ・行動の分析 (発表) ・記述の分析 (リフレクションシート)
定期考査		◎			

※重点項目について、「◎」は総括の資料とするもの、「○」は、総括の資料とせず、不満足な場合は何らかの指導を行う。

3 思考・判断・表現のルーブリック

観点	評価A	評価B	評価C
作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典を読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察している。	「十六夜日記」の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながらさまざまな古典を比較して読み、「十六夜日記」の内容について解釈を深め、作品の価値について考察している。	「十六夜日記」の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながらさまざまな古典を読み、「十六夜日記」の内容の解釈を深め、作品の価値について考察している。	「十六夜日記」の内容を解釈している。